

東海経済レポート（2012年8月）

～東海経済は、当面踊り場へ～

経済調査室（名古屋）

1. 足元の経済情勢

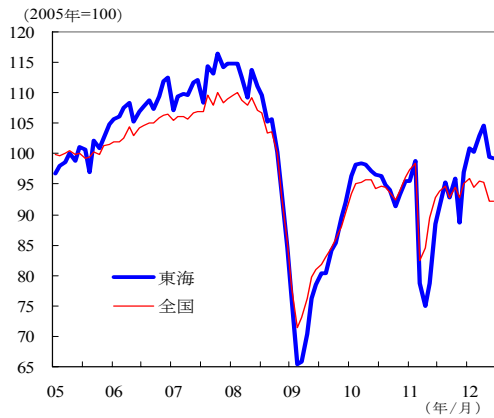
東海地域の景気は、急速な持ち直しが一服し、踊り場に入りつつある。

- ✓ 生産は、6月に前月比▲0.2%と2ヶ月連続のマイナスとなった。回復を牽引してきた輸送機械も同様であり、高水準ながら回復は頭打ちになりつつある。
- ✓ 輸出は、7月に前年比+2.5%と6ヶ月連続で増加。自動車を中心に前年の低い水準からの正常化が続いているが、改善ペースは急速に鈍化。
- ✓ 設備投資では、設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額が、6月は前年比▲23.9%とマイナスへ転じた。
- ✓ 雇用は、6月の愛知県の有効求人倍率は1.20倍と、前月比横ばいとなった。他県もほぼ横ばいで推移。
- ✓ 個人消費では、6月の新車販売台数が前年比+54.0%と好調である一方、大型小売店販売が2ヶ月振りに前年比マイナスに転じた。住宅着工も、2ヶ月振りに前年比マイナスとなった。

2. 当面の注目点・リスク要因

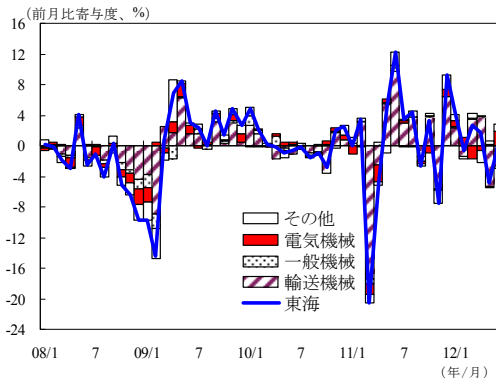
- ✓ エコカー補助金の申請状況をみると、補助金の予算消化を前にエコカー需要が急速に鈍化している。エコカー補助金が終了する秋口以降、国内向け自動車販売のピークアウトを受け、生産に減速感が広がる可能性がある。
- ✓ また、欧州債務危機の深刻化などをきっかけとする、①世界経済の一層の減速、②急速な円高、③株価の急落、④資源価格の高騰等には引き続き警戒が必要である。

生産① 6月の鉱工業生産指数は前月比▲0.2%と2ヶ月連続のマイナス。



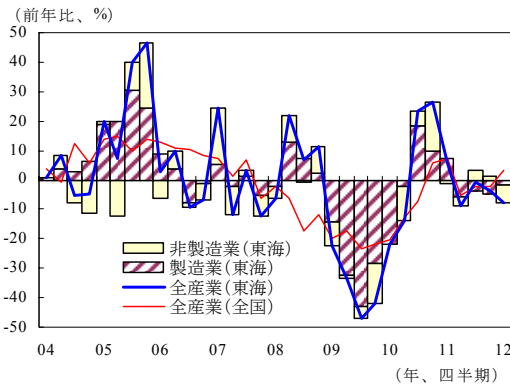
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」等より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

生産② 業種別では、一般機械と輸送機械が減少し、電気機械は増加。



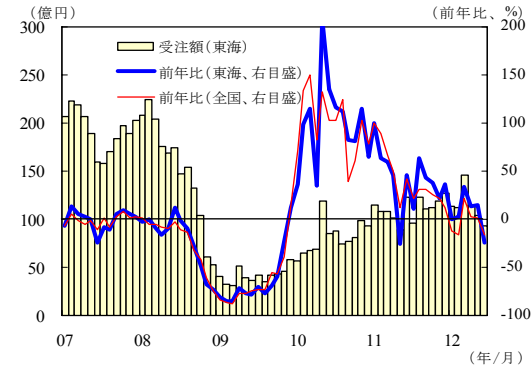
(注) 1. 季節調整値
2. 東海は愛知・岐阜・三重の3県
3. 電気機械は電子部品・デバイス等を含む旧分類
(資料) 中部経済産業局「管内鉱工業の動向」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

設備投資 1-3月期の資本金10億円以上の大企業の設備投資(除くソフトウェア)は、前年比▲8.0%とマイナス幅が拡大。



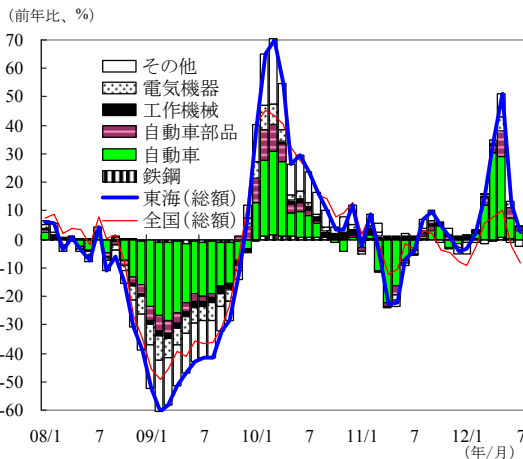
(注) 1. 東海は、愛知、岐阜、三重、静岡の4県
2. 資本金10億円以上の企業を対象
(資料) 東海財務局「四半期別法人企業統計調査」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

金属工作機械受注 設備投資の先行指標である金属工作機械の国内受注額は、6月は前年比▲23.9%とマイナスへ転じた。



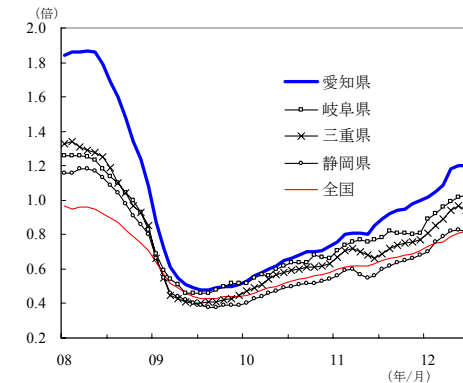
(注) 1. 東海は中部経済産業局管内の主要8社
2. 受注額は当室による季節調整値
(資料) 中部経済産業局「金属工作機械受注状況」等より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

輸出 7月の輸出額は、前年比+2.5%と6ヶ月連続で増加。



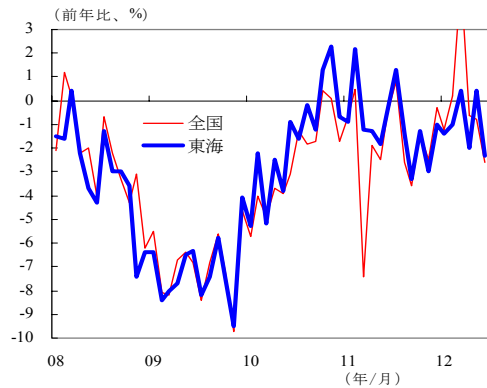
(資料) 財務省「貿易統計」、名古屋税関「管内貿易概況」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

雇用 6月の愛知県の有効求人倍率は1.20倍と、前月比横ばい。他県もほぼ横ばいで推移。



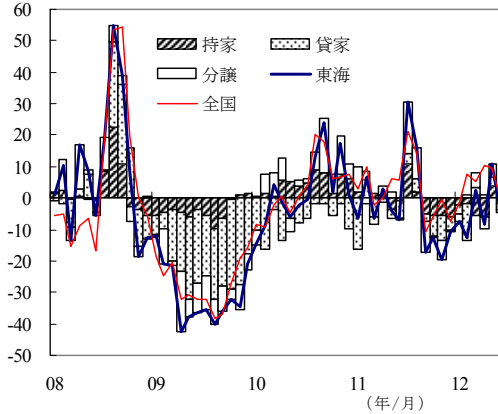
(注) 1. 有効求人倍率=有効求人数/有効求職者数
2. 季節調整値
(資料) 厚生労働省「一般職業紹介状況」より
三菱東京UFJ銀行 経済調査室作成

個人消費 6月の大型小売店販売額(既存店)は前年比▲2.3%とマイナスへ転じた。



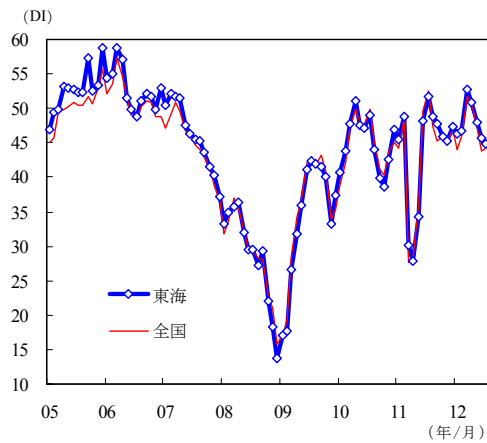
(注) 東海は愛知・岐阜・三重・富山・石川の5県
(資料) 中部経済産業局「管内大型小売店販売概況」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

住宅投資 6月の住宅着工戸数は前年比▲4.5%と、マイナスへ転じた。



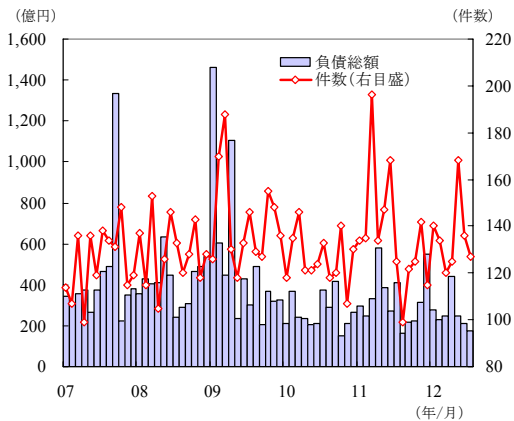
(注) 東海は愛知・岐阜・三重の3県
(資料) 国土交通省「建築着工統計」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

景気ウォッチャー調査 7月の景気現状判断DIは+44.9と4ヶ月連続で低下。



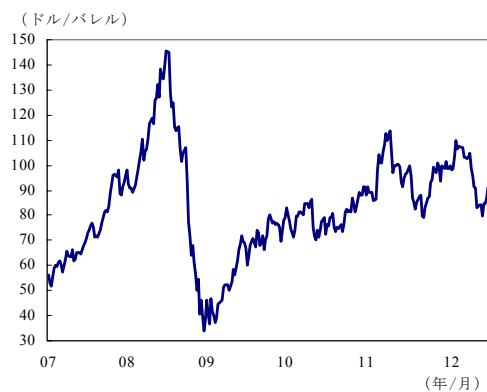
(資料) 内閣府「景気ウォッチャー調査」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

倒産件数 7月の企業倒産件数は127件と減少(前年比で+1.6%)。負債総額は同▲57.0%と減少。



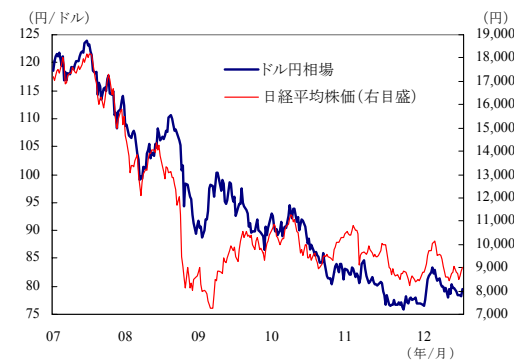
(注) 愛知・岐阜・三重・静岡・長野の5県
(資料) 東京商工リサーチ「倒産月報」より
三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

原油価格 米国経済指標の改善やシリア等中近東情勢の緊迫化を背景に、90ドル台半ばまで上昇。



(注) 原油価格はWTI先物
(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

円相場・株価 米国経済指標の改善を受け、景気回復期待が高まり株価は上昇。ドル円相場は80円弱の円高水準で推移。



(資料) Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

(H24.8.29 富田 潤 jiyun_tomida@mufg.jp)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。